

週 報

2025 年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

＜先週の説教から＞ ＊こどもとの合同礼拝
『合同礼拝—勇気を出しなさい』

武田 真 治 牧 師

ヨハネによる福音書 16:31～17:1

おとなとこどもたちとの合同礼拝も説教では、いつも最初に、出席してくれているこどもたちに声を掛けて、聖書の場面を演じてもらっています。今回は『最後の晩餐』の場面をみんなに演じてもらいました。それは今日の聖書の箇所が、その最後の晩餐の後に語られたイエス様の言葉だからです（＝ヨハネ福音書に沿って）。即ち「あなたがたが散らされて自分の家に帰ってしまい、わたしをひとりきにする時が来る。いや、既に来ている。しかし、わたしはひとりではない。父が共にいてくださるからだ。」です。この言葉の中には、私達キリスト者が信じるべき“福音の中心”をイエス様が身をもって示してくださっています。

それは、十字架を前にしてすべての弟子たちがイエス様を残して去って行き、イエス様お一人になられた時に、しかしイエス様は「わたしはひとりではない。父が共にいてくださる」と言われているように、どんなに孤独になっても天の神様が見ていてくださるから”ひとりぼっちではない”と。まさに「神様が必ず共にいてくださる」という信仰です。これこそ“キリスト教信仰の中心”です。私たちにも、深い孤独を感じる時があります。人々にはじかれ、邪険にされ、友人や家族でさえも『分かってくれない』『側にいてくれない』時が！しかし、神様はそんな孤独を感じる私たちを、天から見て下さっており、そばに居て下さると。その“証し”としてイエス様をこの世界に送ってくださったのですから。

そして、そのような孤独を経験されたイエス様が、私たちに対して、続けて語られた言葉が「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に買っている」です。今の世で生きる私たちには「苦難」があるとイエス様は分かってくださっています。この「苦難」という言葉はギリシャ語の（スリフィン＝押し

つぶす・すりつぶす）という意味で、この世の中にある、私たちを追いやり、心と体を磨りつぶそうとする圧迫や現実のことです。確かに、厭でも、いつもそのような苦難や困難に取り囲まれていると感じる時があります。なんとかしなければと焦りながら、道を求めている状況が。でも、イエス様は、あなたがたはひとりぼっちで戦っているのではないと仰っています。私が一緒にあなたを支え、守り、共に戦っているからと！まさにイエス様がまことの「主」として私たちと「共にいてくださる」と約束してくださっているのです。

何より心強いのは、そのイエス様が「この世に（既に）勝っていてくださる」とある点です（＝イエス様は孤独に負けなかった！）。故に、私たちは「平和」を得ることが出来る。これは何より“魂の平和＝落着き”を示しているのでは？

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会 I. 10月29日（水）20:00
II. 10月30日（木）10:30

聖書研究：ローマの信徒への手紙

祈祷主題：召天者記念礼拝・墓前礼拝を覚えて

担 当 者：（水）SM （木）YS

祈りに覚える人：IYさん IHさん

＊ひつじ雲の会 10月27日（火）10:00

【教勢報告】

主日礼拝 男32 女89 計121

祈祷会 I. 男3 女2 計5 II. 男2 女8 計10

日曜学校 幼稚科10 小中科15 計25

ハンナの会<10月21日（火）> 男2 女5 計7

【次週主日礼拝】 11月 2日（日）

聖 書：イザヤ書 55:6～9

ペトロの手紙 I、1:1～5

説 教：「召天者記念礼拝—離散し、仮住まいをしている者たちへ」武田 真治 牧師

讃美歌：376(1)、32、聖歌隊574、385、81

【次週当番表】 (1～2)、37(1)

司式：保坂昭一長老 奏楽：羽倉信彦長老 礼拝：茨木公子長老

献金：IK MY 受付：NE MH

会堂準備：AA AT SM YE

看板：HS 週報：II お花：MH

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後：・牧師会 /伝道 /礼拝 /社会教育/各委員会

・牧師と語る会 ・お茶の会

2025年 10月 26日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549